とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	メリー★ポピンズ松山ルーム
施設所在地	東京都清瀬市松山１－４０－２４
法人名	社会福祉法人どろんこ会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

アート～始まる表現

＜テーマの設定理由＞

園で展開される描画・制作活動がどこか型にはまっていると感じ、一人ひとりが自由に表現できる環境を子どもたちに提供したいと思いテーマを設定した

２．活動スケジュール

5月フィンガーペインティング
8月ボディペインティング
9月色水氷で遊ぼう
1月書き初め体験
2月段ボールハウス作り

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

5月　ゆびえのぐ・模造紙・紙皿
8月　ゆびえのぐ・模造紙
9月　ゆびえのぐ・障子紙・製氷皿
1月　養生シート・ツーダンクリップ・書道液・半紙・すずり・墨・文鎮
2月　養生シート・スポンジローラー・ゆびえのぐ・筆・段ボール
どの活動に関しても子どもの表現したい気持ちをとめることがないように室内またはテラスの環境を整えた。また２月の段ボールハウス作りでは筆やスポンジローラーの表現を楽しめるように大きく長い段ボールを用意した。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

5月フィンガーペインティング（指先を使って絵の具に触れ、紙皿や模造紙に表現する）
8月ボディペインティング　（全身を使って絵の具に触れ、自分をダイナミックに表現する）
9月色水氷で遊ぼう（氷の冷たさを感じながらいつもとは違う手法で絵の具の表現をする）
1月書き初め体験　（筆を使い、絵の具の量を調節しながら描く）
2月段ボールハウス作り（スポンジローラーや筆、さまざまな画材を友だちと貸し借りしながら協力して１つのものを作りあげる）

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

5月フィンガーペインティング
はじめて絵の具に触れたあわ組は最初から積極的に絵の具に手を伸ばす子どもと様子を伺いながらおそるおそる絵の具に触れる子がおり、絵の具に触れる活動でもそれぞれの表現方法を見せていた。０・１歳児は絵の具の経験が少ないこともあり、少人数で活動を行い絵の具に触れることを楽しめるようにした。2歳児は絵の具の経験があり、ダイナミックに表現し友だちとの会話を楽しみながら活動していた。

8月ボディペインティング
5月の絵の具の経験があったことから全身を使っての表現を行うことができた。体の様々な場所に絵の具をつけ感触を楽しみながら壁や床に貼った模造紙にかがんだり、背伸びし表現していた。回数は重ねているが絵の具になかなか手を伸ばせない子もいたので、無理に活動に参加するのではなく、絵の具の匂いを感じたり、友だちの遊んでいる様子を観察できるようにした。

9月色水氷で遊ぼう
絵の具で色をつけた氷をつくり、水が染みる障子紙や模造紙に描いた。氷の冷たさを感じるととも筆などの画材とは違う感覚での描画を楽しんだ。氷を模造紙の上をすべらすなどして描くなど子どもたちの工夫も随所に見られた

1月書道体験
墨汁を使って書道体験を行った。実際には使用しなかったが子どもたちの目の前で硯と墨を使い墨液を作ると「においがするね」といつも使う絵の具とは違う匂いがすることに自ら気づき言葉にしていた。筆の使い方で半紙が破けてしまうことがわかると力加減を調整しながら筆を使って描くなど、筆をうまく使いながら表現していた。いつもは絵の具が苦手な子も挑戦することができ、満足気な表情を浮かべていた。

2月段ボールハウス作り
クラスごとに表現方法をかえて行った。0歳児クラスは絵の具に直接触れる、1歳児クラスはローラーを使用する、2歳児クラスは筆を使用し細かい部分を塗り、自分たちで想像したお家を作るの３工程を行った。特に2歳児は散歩途中にあるお家をみたり「三匹のこぶた」の絵本に入り込み、「おおかみのこない家をつくりたい」との声があがり、レンガのお家作りへと発展した。力をあわせて一つのものをつくり、次の日には作ったお家で三匹のこぶたごっこをするなど描画の表現に加え、役になりきって演じるなど違った表現も楽しむことができた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

絵の具の経験を重ねることで自分の体を使った表現だけでなく、画材の使い方を知り、様々な表現を学んでいるのだと実感した。またダイナミックに表現することを経験したことで微細な表現、力加減を調節するなどの細かな表現にもつながっていることにも気づいた。また様々な画材を使って表現している子どもたちの表情がいきいきしており、様々な手法で自己を表現する大切さを学んだ。